

学校 教育 目標	自分が好き 友だちが好き 学校が好き まちが好き ○進んで問題を見つけ、自分の見方や考えを深め、豊かに表現できる子どもを育てます。(知) ○思いやりの心や感謝の気持ちをもって、自他を大切にすることを育てます。(徳) ○自分の健康に関心をもち、心身ともにたくましく生きる子どもを育てます。(体) ○地域との関わりを大切にし、まちや社会のために自ら行動していく力を育てます。(公) ○多様な文化に関わり、よさを受け入れながら、ともに生きていく力を育てます。(開)				
学校 概要	創立 154 周年	学校長 山本 加奈代	副校長 田村 由美子 中村顕哉	2 学期制	一般学級: 33 個別支援学級: 7
	児童生徒数: 1104 人	主な関係校:	浦島丘中学校 錦台中学校 神奈川中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	浦島丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分で学びを広げ深める力 他者や事象と関わる力 思考・表現・情報活用する力 健やかな心と身体	浦島丘中学校 浦 島小学校 神奈川小学校	人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生きぬく子 「本ブロックで育成を目指す資質・能力を「人となりのつながりを豊かにする社会性」、「課題解決能力」、「創造力と発信力」と設定。具体的取組として… ・ 7月…中学校の授業を3小学校が参観。授業後に研究協議会を実施。 ・ 9月…3小学校で輪番で授業公開。授業後に研究協議会を実施。 ・ 10月…授業生徒交流日に6年生が中学校を訪問し、授業や部活動を体験。」

中期 取組 目標	子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、活力と笑顔あふれる学校にします。 ○ 子どもが学ぶ楽しさや喜びを実感できる授業を推進します。 ○ 課題解決的な学習を意識し、子どもの考えや表現を引き出しながら学力を向上させます。 ○ 互いのよさを認め合い、子どもも教職員も楽しく元気に過ごせるようにします。 ○ 地域の「人とのつながり」を意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ○ 日々の観察とデータを活用し、子ども一人ひとりの変化を捉え、学びの充実に生かします。
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①子どもが学んだことを自覚し、自分の思いや考えを表現する力を高めるために、国語の系統性を共通理解した上で、今までの学びの積み重ねを生かした授業づくりを行う。 ②子ども一人ひとりの学びを充実させるために、日々の観察と学力状況調査や体力テスト等のデータを分析・活用し、授業展開の工夫や改善を行う。
担当	重点研・情報ICT	
徳	道徳教育	①粘り強さや自他を思いやる心を育てるために、道徳科を中心として全教育活動において、より意識した活動を行う。 ②自尊感情を高め、互いの個性を認め合える関係性を構築するために、アンケート結果や学年の実態に応じて人権月間や横浜プログラム等を活用した取組を行う。
担当	道徳部・人権環境	
体	健康教育	①運動を楽しんだり体力を向上しようとしたりする姿を育むために、体力テストの結果を分析しながら、休み時間等を利用して全校で体力向上に向けた活動を行う。 ②子ども一人ひとりが自分自身の心と体に目を向け、元気に学校生活を送るために保健委員会や学校保健委員会を中心に、健康に過ごすための実践意欲を養っていく。
担当	体育部・保健部	
公開	自分づくり教育	①友達やまちの人と関わりながら解決するよさや楽しさについて実感できるように、生活・総合の時間の単元づくりを工夫する。 ②子ども一人ひとりが挨拶のよさを実感し、気軽に挨拶し合うことができるように、たてわり活動を生かした活動を児童会活動を中心に考えていく。 ③将来の自分のなりたい姿をイメージして、友達の意見を取り入れながら自分で意思決定できるように、特活部を中心に、自分づくりパスポートの活用方法を考え、校内に発信していく。
担当	生活総合部・特活部	
いじめへの対応		①子ども一人ひとりの見取りを大切にし、日常的に安心して子どもが教職員に相談できる関係性を構築することができるように、定期的なアンケート、日々の健康観察、教育相談、教科担当制による複数職員による指導等を通して状況の把握に努める。 ②いじめ等問題行動に対して学校が早期発見し、組織的に対応するために、児童支援専任を中心とした指導・支援体制を整え、全教職員が連携して対策を考えたり対応したりする。
担当	いじめ防止対策委	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①働き方を組織的に改善していくために、各職員がが主体的に自らの業務やステップアップした業務に取り組めるような職場づくりを進めるとともに、ICTの活用や既存の取組の見直しを推進していく。 ②メンター職員間でのかわりを充実させるために、引き続き、悩みや授業づくりについての相談会は継続していく。そのうえでさらに、授業力の改善を図るため、授業を通して話し合えるような時間を設けていく。
担当	教務部・メンターチーム	
地域学校協働活動		①地域とのつながりを広げたり深めたりして、地域と共に歩む学校づくりをさらに推進するために、学校運営協議会で学校づくりについて議論し、その結果を職員全体に周知して学校運営に生かしていく。 ②今まで以上にこやすキラキラ応援隊と連携をとりながら学習を進めていくために、依頼の内容を明確にして伝えたり、保護者・児童にこやすキラキラ応援隊の活動がより伝わるように紹介・発信したりしていく。
担当	教務部・地域連携	
特別支援教育		①子ども一人ひとりに合った指導や支援をするために、児童や保護者の思いに寄り添いながら児童理解を深める。作成した個別の支援計画や個別の指導計画を定期的に見直す機会を設けることで活用を促し、適切な支援や学びの場をチームで検討し、提供する。 ②特別支援教育コーディネーターを中心として、学習環境の整備や支援を必要とする児童への関わり方について職員全体の意識を高められるように、情報共有や研修を行う。
担当	児童指導特別支援	
担当		
担当		